

様式2【後期】

令和7年度中堅教諭等資質向上研修【後期】教科指導研修シラバス 高等学校 福祉科 教科指導研修

1 研修日程

(研修者:高等学校<福祉科>4人)

期 日	時 間	研 修 内 容	会 場
第1日 6月20日 (金) ※1農業科・工業科・商業科 水産科・家庭科 看護科と合同 ※2工業科・家庭科・看護科 と合同	9:00~ 9:30	受付<総合教育センター第13・14講義室前>	総合教育センター 第13・14 講義室
	9:30~ 9:40	オリエンテーション	
	9:40~12:00 ※1	【講義:産業教育における評価の在り方について】 講師 大学准教授	
	12:00~13:00	休憩	第13・14 講義室
	13:00~16:10 ※2	【講義・演習:SDGsで学校が変わる~持続可能な社会を実現する授業づくり】 講師 独立行政法人職員	
	16:10~16:30 ※2	教科指導研修の振り返り(振り返りシート記入) 諸連絡	
第2日 11月7日 (金) 家庭科・看護科と合同	9:00~ 9:30	受付<総合教育センター第7講義室前>	総合教育センター 第7講義室
	9:30~ 9:40	オリエンテーション	
	9:40~12:00	【演習:授業実践報告】 総合教育センター研究指導主事	
	12:00~13:00	休憩	第7講義室
	13:00~15:10	【講義・研究協議:カリキュラム・マネジメントと授業・評価の改善】 総合教育センター研究指導主事	
	15:10~16:10	【講義:家庭、看護、福祉科教員に望むこと】 講師 県立高等学校教頭	
	16:10~16:30	教科指導研修の振り返り(振り返りシート記入) 諸連絡	

2 連絡事項(課題等)

連絡事項 (課題等)	全日程 共通	課題の提出、研修資料の配布等ではMicrosoft Teamsを利用するため、5月16日発出の通知に示されているチームコードから、「R7中堅研【後期】(家庭・看護・福祉)」に5月30日までに参加すること。
	第1日	【持ち物について】 ・なし 【事前視聴課題】 ・eラーニング教材 「SDGs達成に向けたJICAの取組」(25分) 「SDGs達成に向けた学校での実践例」(20分) ・学習期間 令和7年5月19日(月)~6月19日(木)
	eラーニング 課題	「産業教育における評価の在り方」(80分) ・学習期間 令和7年6月20日(金)~10月24日(金)

	第2日	【持ち物について】 ・愛知県教育委員会が配備したSurface Proまたは所属校で管理職に許可されているタブレット端末（授業実践報告に使用してよい。報告様式は特に定めない）（※校内で持ち出し手続きを行うこと） 【課題及び提出について】 ・提出課題 カリキュラム・マネジメントを視点に据えた効果的な授業の工夫 ・課題様式 「3 課題様式（記入例）」参照 ・提出期限 令和7年10月24日（金）必着 ・提出方法 所属長の決裁後、Microsoft Teamsの指定のチーム内のチャンネルにPDFファイルを提出する（ファイル名を「fukushi_kou_受講番号（8桁）」とする）。
--	-----	---

3 課題様式（記入例）

令和7年度中堅教諭等資質向上研修【後期】 教科指導研修 高等学校福祉科

受講番号									
テーマ	カリキュラム・マネジメントを視点に据えた効果的な授業の工夫								
1	実践学年・教科(科目)名								
2	教科書及び使用教具 (章立ては、左記のとおりとする)								
3	単元名								
4	単元目標								
5	単元の評価規準								
6	単元指導の計画								
7	本時の目標								
8	本時の展開（学習内容、学習活動、指導上の留意点、評価の観点、評価方法、評価基準）								
9	成果と課題								

個人情報の取り扱いに十分留意し、特に児童生徒の個人名及び男女の区別は記載しない。

（注）・受講番号については、実施要項添付の名簿を参照する。

- ・A4判縦長横書き。枚数は2ページまで
- ・字の大きさは、10.5ポイント。
- ・文字数は、1行35から45文字程度、1ページ30から40行程度。

4 問い合わせ先

担当 学校支援研修課キャリアアップ研修推進G（加藤真由美）

電話 0561-38-9507（ダイヤル）